



金沢脳神経外科病院だより ふれあい

2002年
秋季号

医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院 広報誌
第8号
発行所 メディア広報室
石川郡野々市町徳用町315
TEL 076-246-5600
FAX 076-246-3914
URL : <http://www.incl.ne.jp/knouge/>

病院理念

脳神経外科専門病院として、
私達は患者の皆様に
より高度の医療技術を提供し、
公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

- (1) 人間性を尊重した温かい医療を提供します。
- (2) 治療における患者の皆様の知る権利と選ぶ権利を尊重します。
- (3) 患者の皆様の安心と満足の得られる確かな医療技術の提供に努めます。
- (4) 十分な説明と同意に基づいた治療を行います。
- (5) 急性期から慢性期までの一貫した医療を提供します。
- (6) 適切な言葉と態度を心がけ、患者の皆様の満足を得られるよう努めます。
- (7) 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。



あさご
石川県出身の写真家 織作峰子さんの「朝来の秋」と題された風景作品(約100×150cm)が6病棟に展示されています。
ご鑑賞下さい。

顔の見える連携



金沢脳神経外科病院
病院長
佐藤 秀次

医療連携を立ち上げて以来、現在までに240有余の医療機関からのご登録をいただきました。最近、患者さんは遠方からも受診されており、医療連携は必然的にその範囲を広げています。

私は広報誌で繰り返し述べてきましたが、医療連携は医療機関がその役割を果たす上で今後益々重要になるとともに、患者さんが良質で継続性のある医療を受けるために欠くことの出来ないものになります。紹介・逆紹介に際して、紹介先をより詳しく患者さんに説明できるなら、

患者さんにとって大変心強いことになります。このことは医師同士が顔を向き合わせ、お互いを良く知り合うことによって始めて実現するものと思います。このような考え方から、私は登録医療機関の諸先生と集い、話し合える機会を積極的に作る考えであります。その折にはご協力の程宜しくお願い致ります。

今回、紹介させていただく連携医療機関は、私共のすぐ近くの「わかばやし眼科クリニック」です。若林先生はいち早く日帰り手術に取り組まれた先生性の高い、アクティブラックな先生であります。私は大変お世話になつております。今後ともご協力の程宜しくお願ひ致します。

登録医療機関 紹介コーナー



わかばやし眼科クリニック
(野々市町太平寺)

医学博士 金澤大学医学部眼科臨床助教授
院長

若林 謙一 先生

今回ご紹介しますクリニックの若林先生は、白内障に悩む方の極小切開手術(一、二日の入院で済む)と、近視(乱視)の

方の矯正手術に積極的に取組んでおられます。どちらも早期回復を望む方々から「満足した」笑顔を得られておられるようです。また、先生は眼科領域外の鑑別診断のため、当院への積極的な患者紹介を頂いております。当院から1.4kmと近く、双方の患者さんにとって、その点も利便を得ており好評です。



新来院患者のアンケート調査から 「医療機関からの紹介が第1位」

事務長 谷 寛憲

当院が、「患者さんにとって最も良い医療を選択」を基本コンセプトとして、地域の医療機関との医療連携に取り組んでから、この9月で約1年余りが経過しました。当初は190の医療機関から登録を頂きましたが、月を追うごとに更に登録医療機関も増え、現在(14年9月末)では246の医療機関から登録を頂いております。

改めて当院に寄せられた信頼とその責任の重さを痛感していける次第です。

また、この間の紹介・逆紹介患者数も順調に増え、紹介患者の合計

1,600名(月平均:123名)、逆紹介患者の合計が1,096名(月平均:85名)で、初診患者に対する逆紹介患者が約30%、紹介患者の割合も68%5で、初診患者に占める紹介患者に対する逆紹介患者の割合も68%5

新来院患者のアンケート調査結果 (設問の一部を抜粋)

調査期間:8月1日~8月31日

調査対象:上記期間中の新来院患者332名中救急患者及び時間外患者を除いた患者

回答者:222名(アンケート配布256名:回収率87%)

〈当院を選んだ理由〉

第1位	医療機関からの紹介	19%
第2位	専門病院として信頼できるから	17%
第3位	家族の勧めで	16%
第4位	知人の勧めで	14%
第5位	人の評判を聞いて	10%
第6位	自宅職場に近いから	9%
第7位	知人・家族が通院・入院しているから	8%
第8位	ホームページで見たから・その他	4%
第9位	医療設備が良いから	3%

%と、医療連携システムとして順調に進んでいると思つております。なお、今年8月に当院に初めて来られた「新来院患者」の方々からのアンケート調査を行いましたが、当院を選んだ理由として「医療機関からの紹介」が第1位となりました。これからも、脳神経外科の専門病院として、地域医療発展のためには医療連携や救急医療の充実にむけて微力ではありますがお役に立てればと考えております。

救急隊専用メールの開設

救急隊から要望のあった、当院と救急隊との救急隊専用メールを開設いたしました。この救急隊専用メールは、当院ホームページのトップページ右上に愛嬌のある救急隊のイラストに「救急専用メール受付」と表示しております。これからも当院は、救急隊と様々な情報交換を通して、この地域における救急医療の一層の充実を図り、地域医療への貢献に努めてまいります。

救急入口の改修工事完了

救急入口に段差があり、救急患者搬送時には救急隊員の方々に患者さんへの衝撃を与えない配慮をいたしました。この度、その段差を解消し、また入口ドアを強風にも耐えられる引き戸に改修いたしました。



救急隊と症例検討会を開催

9月4日、当院において、救急症例検討会(松任石川広域事務組合主催)が開催されました。この検討会は、これまで当院に救急搬送された救急症例を対象に、救急救命士や救急隊員と当院の医師とが、救急処置等について討議をするものです。最近の救急医療のレベルアップとともに、当日は、熱い討議が行われました。

また、検討会後に当院の梅森医師が「意識障害」について講演を行いました。なお、今後は、松任石川広域事務組合主催の救急症例検討会の他に、当院が主催する救急症例検討会を毎年3月・6月・12月に定例として行うことが決りました。

当院へ病院見学に来院されました



9月3日に群馬県の

医療法人社団ほたか会
ほたか病院の樋口総長、

関施設長をはじめとして
総勢9名の職員の方々
が、当院の病院見学に
来院されました。

これは、月刊誌「病院」

(医学書院)に掲載さ
れた当院の特集記事「脳

神経外科病院の特性を生かした療養病床の展開」
をご覧になつた樋口総長の強いご希望で実現した
ものです。

ほか病院では、現在、特殊疾患病棟の開設を検討しており、3病棟(今年4月より特殊疾患病棟)を中心に熱心に見学されていました。



皆さまの声をお聞かせください。 **患者さんコーナー**

柳瀬千恵子様

私がこの世に生を受けてからは、誕生の時に病院にお世話になり、成長してからは怪我をし、かぜを引き高校では腹膜炎で入院しました。金沢脳神経外科でパーキンソンの治療を受け何年になるでしょうか。真剣に治療して下さるお医者様優しく接して下さる看護婦さん、スタッフの皆々様、人情に泣ける日々もありました。「1つ1つの病気」から多くのことを学び、多くの人々から教えて下さい、「感謝の心」、私に出来

る恩返し、ふと目にとまつたのが「障害者と健常者の集い」で、参加させていただき、「一生懸命」に頑張る姿に心打たれました。以来施設へボランティアへ行き、もう3～4年はたつたかと思ひます。「人間生きるには、病気になります」でも一番なりたくないのは「みにくいい心の病気」です。多くの人々から学ばせていただいた事を忘れず「二度と来ないこの一日一分を大切」にして、出会いが出来ることを願い命のままに生きて行ければ幸せと思つています。

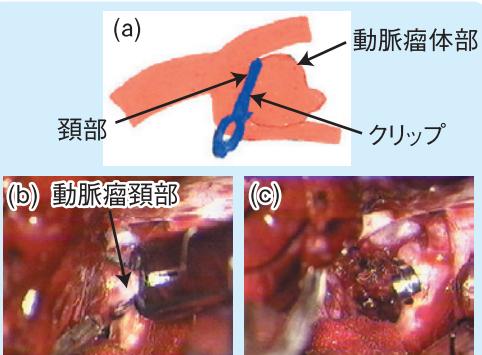


図1) (a)動脈瘤のクリッピング術
(b)手術で頸部にクリップをかけるところ
(c)クリップをかけ終わったところ

7月10日のご意見

売店にある品物に賞味期限が切れた物がある。売店主に賞味期限について、特段の配慮をするよう指導いたします。

7月10日のご意見

当院では、病棟や外来周辺に「ご意見承り箱」を設置して患者の皆様や病院に来られた方から、当院に対する貴重なご意見を頂いております。今まで、皆様から頂いた主なご意見に対しても院の取り組みをお知らせいたします。総合受付前にも取り組みについて掲示しております。



「当院に対するご意見」 の対応について

快適な療養生活ができるよう清掃作業に対する指導を徹底します。

8月30日のご意見

職員の高齢患者さんに「対する」の利き方が悪いので、もう少し口の利き方の勉強をされてはいかがか。

7月12日のご意見

病室の床掃除に、濡れモップを十分絞らずに拭くため、床が濡れた状態です。

脳神経外科講座シリーズ 8

脳動脈瘤の

病院長
佐藤秀次

脳動脈瘤が破裂した場合には、可能な限り早期に動脈の再破裂を防ぐ治療が必要です。動脈瘤を根

と基礎疾患などから総合的に判断しています。

脳動脈瘤クリッピング術

開頭して動脈瘤の首に小さなクリッピングをかけて、動脈と動脈瘤の間を完全に遮断する方法（図1）。

血管内治療

動脈内を動脈瘤までカテーテルを進め、血栓化を促進する極細コイルを瘤内に詰める方法（図2）。

両者の決定的な違いは、頭を開くか開かないかであり、処理を動脈瘤の外から行うか内から行うかです。いずれの方法をとるにせよ、それぞれに異なるリスクがあります。また、どちらの治療も術者の技術と経験がものをいうことに変わりはありません。従って、十分な説明と同意のもとに治療が行われなければなりません。

次回はくも膜下出血に伴う問題とその治療について説明します。

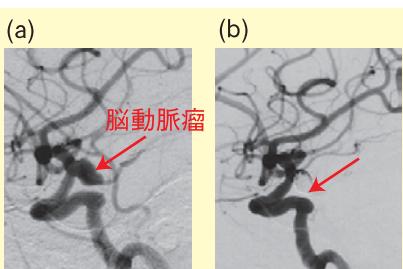


図2) (a)血管内治療前
(b)血管内治療後：動脈瘤内
が詰め込まれたコイルにより
動脈瘤は血栓化している

营养部穿

管理栄養士 飯田 英子

サーモンコロッケ



③ ②をフライパンに入れて炒めます。（ベーコンを先に入れる必要はありません。）

④ ①と③をボールに入れ、牛乳を加え塩・こしょう・醤油で下味をつけます。

⑤ お好みの大きさに丸め、冷ましておきます。（熱いうちに衣を着けて揚げると破裂します）

⑥ 小麦粉、卵、パン粉の順に衣をつけ、揚げます。

⑦ シメジは小房に分け酒蒸しに

⑧皿に熱々コロッケとシメジを盛り付け、クレソンを添えます。

⑥ 小麦粉、卵、パン粉の順に衣をつけ、揚げます。
⑦ シメジは小房に分け酒蒸しにします。

秋風とともに
に食欲が増し
てきましたね。

「秋鮭」を使った熱々コロッケをお試しください。
ただし、食べすぎには十分注意してくださいね。

くださいね。 食べるときに十分注意して、たまに皮を除いて細かく刻みます。ベーコンも細かく切っておきます。

（作り方）

① ジャガイモは皮がついたままよく洗い竹串がすつと通るまでゆで、熱いうち皮をむいてつぶします。

② たまねぎはみじん切に、鮭は皮を除いて細かく刻みます。ベーコンも細かく切っておきます。

使用食材の効能

鮭

鮭は総合的に栄養価の高い食品です。中でもたんぱく質や脂質が豊富に含まれています。鮭の脂質にはDHA／EPAが多く含まれています。DHAは魚の頭部や目の裏側、血合いなどに多く含まれます。また脂の乗った旬の時期に食すとより効果的に摂取することができます。またDHA／EPAは熱に強いため、加熱調理でもほとんど変化しないのが特徴です。

鮭は他の魚に比べビタミンA、B1、B2、D、E、B6も多く含んでいることから、たんぱく質の吸収が良いのも特徴です。

薬は、それぞれの病気に有効であつても、多くの薬を一緒に飲むと効き目が強くなったり、また逆に弱くなったりすることがあります。これが「薬の飲み合わせ」といわれるものです。

問題となるような薬の飲み合せは、そう多くありませんが、ひとつたび発生すると重大な事故や副作用を引起こことがあります。

近年、高齢化にともない色々な病気をもつた患者さんが増え、それとともに、多くの薬を一緒に飲む機会が増えてきましたので、薬の飲み合わせには十分な注意が必要です。

「薬の飲み合わせ」を防ぐには、現在患者さん自身が飲んでいる薬をすべて、医師や薬剤師に話しておることが必要です。患者さんが、普段どんな薬を飲んでいるか分からなければ、薬の飲み合わせの危険性が高くなるばかりか、同じ薬が重なって処方されるとき、効き目が強く現れ副作用を引起こす可能性もあるからです。

薬の名前が分からない場合は、実物を持ってきていただくか、

薬剤師から患者の皆様へ（5）
『薬の飲み合わせに
注意しましょう』

● 実物がない場合は空のパッケージでもかまいませんので、必ず医師又は薬剤師にお見せ下さい。

道路案内板の設置

新患者とともに、当院に来られる方々から「病院の場所がわからぬ」という問い合わせをよく頂きます。そこで、道路案内板を国道8号線の富山方面から当院へ向う野々市町三日市沿いと福井方面から当院へ向う松任市乾東交差点沿いの2ヶ所に設置いたしました。



編集後記

今回は、原稿を規程の字数にまとめるとい

う事の難しさを改めて感じました。
いつも原稿を書いて下さっている「諸先生
方」に改めて感謝したいと思います。
また、紹介しました『サーモンコロッケ』
は試食したところ、『サクッ』&『ホクホク』
でしたので、是非皆様もお試しください！
紙面に対するご意見やご感想などなど、何
でも結構です、『ご意見箱』へお寄せくださ
い、お願ひいたします。

編集委員 向、向田、西、山根、森下